

令和6年度 市民アンケート調査 基本集計結果概要

1 調査概要

満18歳以上3,000人の市民を対象に実施し、1,209人（40.3%）が回答

2 調査結果

(1) 現在の三条市の全体としての評価

「どちらでもない」が40.7%、「大変満足」又は「満足」が35.2%、「不満」又は「大変不満」が14.0%だった。

(2) 個別分野の満足度及び重要度

ものづくりのまち、アウトドアの聖地としての環境整備といった「交流人口の拡大」や「市民の健康づくりの推進」、「行政サービスの向上」といった項目に対する満足度が高い一方、「道路網の整備」、「公共交通対策の拡充」、「空き家対策の推進」といった項目に対する満足度が低い。

また、医療人材の確保、救急搬送体制の強化等といった「医療体制の充実」や、円滑な除雪等といった「除雪体制の維持」に関する分野が重要と認識されている。

(満足度)

順位	項目	平均点
1	交流人口の拡大	3.153
2	市民の健康づくりの推進	3.123
3	行政サービスの向上	3.095
4	商工業の振興	3.071
5	上下水道の整備	3.060
35	雇用対策の推進	2.784
36	社会インフラの整備	2.732
37	道路網の整備	2.670
38	公共交通対策の拡充	2.618
39	空き家対策の推進	2.610

(重要度)

順位	項目	平均点
1	医療体制の充実	4.241
2	除雪体制の維持	4.077
3	子育て環境の充実	4.055
4	社会インフラの整備	4.041
5	道路網の整備	4.027
35	環境対策の推進	3.480
36	移住、定住の支援対策	3.398
37	生きがいつくりへの支援	3.396
38	スポーツ活動の充実	3.358
39	文化、芸術の振興	3.356

(3) 個別分野の市民ニーズ度

各項目の「重要度」から「満足度」を減じた「市民ニーズ度」では、重要度では6位だった「公共交通対策の拡充」に関する施策へのニーズが最も高く、2位は重要度では5位だった「道路網の整備」が続いている。

(市民ニーズ度)

順位	項目	平均点
1	公共交通対策の拡充	1.408
2	道路網の整備	1.356
3	社会インフラの整備	1.309
4	除雪体制の維持	1.255
5	雇用対策の推進	1.218
35	移住、定住の支援対策	0.412
36	文化、芸術の振興	0.401
37	交流人口の拡大	0.400
38	生きがいづくりへの支援	0.363
39	スポーツ活動の充実	0.337

(4) 将来に対する意識

今後も三条市に住み続けたい(「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」)市民の割合は71.7%、「どちらかと言えばそう思わない」又は「そう思わない」は8.6%

住み続けたいと思わない主な理由は「交通の便が悪いから43.8%」、「老後の生活が不安だから42.9%」、「娯楽や余暇を過ごす場が少ないから35.2%」となっている。

また、将来に対する悩みや不安として「自分や家族の健康・病気のこと61.5%」、「生活のための収入・貯金のこと」、「子どもや孫の将来のこと31.2%」を挙げる割合が高かった。